

令和4年度

里浦小学校

「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

豊かな心を持ち、ともによりよい生き方を求め行動する子どもの育成

①楽しさと充実感を味わい、「確かな学力」を身に付ける授業の実践

②自ら学び、主体的に考え、表現する力を養う指導内容や指導方法の工夫・改善

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長 早川和美	教頭 遠藤比呂誌
前田 美里		教務主任 小坂千絵	研修主任 田中優子
		低学年 小坂千絵	中学年 吉田明日香
		高学年 新開大輔	

校長

早川 和美



【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に真面目に取り組む、基礎的・基本的な知識技能を身に付けている児童が多い。 ●文章を正しく読み取ることや身に付けている知識等を関連付けることが課題である。	・基礎的・基本的な知識技能を確実に身に付け、他の学習や生活場面で活用することができる。 ・目標を持って学習や読書に取り組み、自分の課題を進んで解決しようとすることができる。	・里浦スタンダードを引き続き実践し、学習規律を徹底する。 ・発展学習として子ども新聞などを活用し、長文を読む習慣をつける。 ・タイピング練習を取り入れるなどタブレットを活用した学習を工夫する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の意見を発表したり、話し手の意見をしっかりと聞いたりすることができる児童が多い。 ●複数の資料の中から必要な情報を取り入れたり、根拠を基に自分の考えをまとめたりすることが課題である。	・常に相手を意識し、話し合いながら、課題を解決しようとするすることができる。 ・自分の意見を正確に伝えるために、根拠や理由を明らかにしながら、話したり書いたりして表現することができる。	・根拠となる情報を集め、考えを導く学習を授業の中に取り入れる。また、タブレットを活用してわかりやすく相手に伝える活動も取り入れる。 ・作文読本の活用や作文指導を適宜行い、自分の考えをまとめたり、思いを伝えたりするなどの機会を設ける。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題には真面目に取り組む、最後までやり遂げる児童が多い。 ●難しいことや不得意なことに対して、自分で計画を立てて、克服しようとするに課題がある。	・自分の学習の課題を明確に持ち、課題を解決できるよう計画を立て、取り組むことができる。 ・互いを認め合い、励まし合って共に成長することができる。	・自分のめあてや目標をスモールステップでもたせ、結果が出たときや定期的に振り返る機会をつくり、ステップアップできるようにする。 ・学年通信や教室掲示等で、児童の学習の姿を伝え、家庭も含めて児童の頑張りを認め合える環境をつくる。			

令和4年度 学力向上ロードマップ

